

JICA 環境社会配慮助言委員会 第 37 回全体会合
2013 年 7 月 5 日 (金) 14:30 ~ 17:30
JICA 本部 2 階 229 会議室
議事次第

1. 開会

2. 案件概要説明 (ワーキンググループ会合対象案件)

- (1) カンボジア国 国道 5 号線改修事業 (中央区間:スレアマーム バットンバン間)(協力準備調査 (有償)) スコーピング案 (7 月 26 日 (金))

3. 上記案件および WG スケジュール確認 (別紙 1 参照)

- (1) カンボジア国 国道 5 号線改修事業 (南区間)(協力準備調査 (有償)) ドラフトファイナルレポート (8 月 2 日 (金))
- (2) ネパール国 全国貯水式水力発電所マスタープラン調査 (開発計画調査型技術協力) ドラフトファイナルレポート (8 月 23 日 (金))
- (3) スリランカ国 新ケラニ橋周辺交通改善事業 (協力準備調査 (有償)) ドラフトファイナルレポート (8 月 26 日 (月))
- (4) ラオス国 セカナム水力発電事業 (協力準備調査 (有償 PPP)) スコーピング案 (8 月 30 日 (金))

4. ワーキンググループ会合報告および助言文書確定

- (1) フィリピン国 洪水リスク管理事業 (カガヤン・デ・オロ川)(協力準備調査 (有償)) スコーピング案 (5 月 31 日 (金))
- (2) ベトナム国 ダナン市環境インフラ整備事業 (協力準備調査 (有償 PPP)) スコーピング案 (6 月 28 日 (金))

5. その他

6. 今後の会合スケジュール確認他

- ・ 次回全体会合 (第 38 回): 8 月 5 日 (月) 14:30 から (於: JICA 本部)

7. 閉会

以上



カンボジア王国 国道五号線(中央区間)改修事業

有償資金協力 協力準備調査



2013年7月5日



国際協力機構 経済基盤開発部
運輸交通・情報通信第2課

事業の背景

- 内戦終結後、開発パートナーの支援による応急的な道路改修事業が進められてきた。
- 現状の国道5号線は簡易舗装であるため、大型車の通行に耐えられず、状態は年々悪化している。
- ほとんどの区間で道路の幅員が十分に確保できておらず、交通量の増大に対応できない。



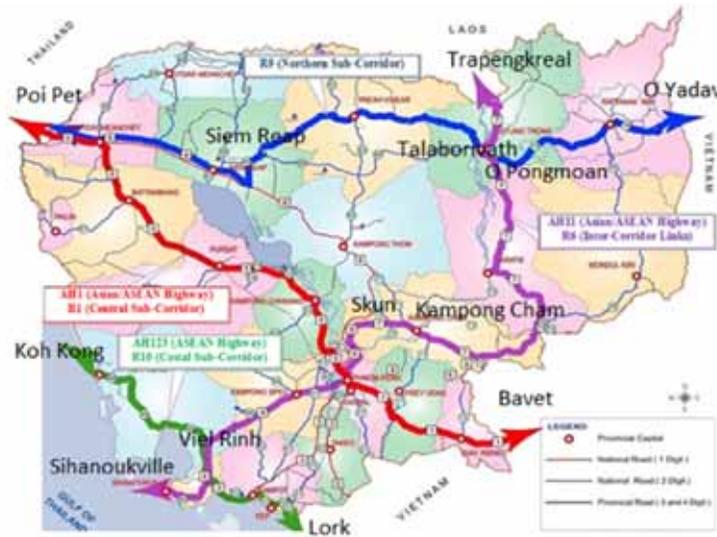
穴だらけの舗装



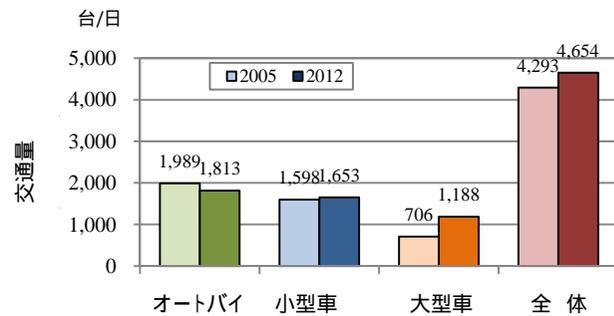
過積載車両の取り締まり



幅が狭く追い越しが危険



アジアンハイウェイ1号線



交通量の増加(大型車の増加が目立つ)

- 首都プノンペンと地方都市を結ぶ国内道路として、また、バンコクとの人流・物流を支える、国際道路(アジアハイウェイAH1号線)として、国道5号線の役割が年々増加している。



これまでの経緯

- カンボジア政府からの要請を踏まえ、JICAは2010年11月に調査団を派遣し、国道5号線の北区間及び南区間を対象とした協力準備調査の実施について合意。
- 2011年2月、プレック・クダム～セレイ・サオポアン間(延長約340km)についての調査を開始し、北区間(バタンバン～セレイ・サオポアン:約68km)を円借款事業として先行整備する方針とした(2013年5月L/A済み)。
- 2012年9月、洪水に伴う舗装の損傷などの被害が発生した南区間(プレック・クダム～スレア・マアム:約139km)の改修を円借款事業として実施するための調査を開始(2013年12月に調査終了予定)。





事業の概要

(南区間でのステークホルダー協議)

➤ 事業目的

首都プノンペンとタイ国境を結ぶ国道5号線のうち、中央区間(スレア・マアム－バタンバン間)において、既存の本線道路を改修(及び、検討結果に応じてバイパス道路整備)を行うことにより、輸送能力の増強及び輸送効率の改善を通じて、対象地域における道路輸送需要への対応を図り、もってカンボジアの経済発展の促進に寄与する

➤ プロジェクトサイト/対象地域名

カンボジア国：プルサト州, バタンバン州

➤ 事業概要

- 道路改修(スレア・マアム－バタンバン間 = 約130km: 4車線への拡幅、舗装を強度の高いアスファルトコンクリート舗装に改良、洪水頻発箇所の路面を嵩上げ)
- バイパス建設(未定、先方政府の要請及び必要に応じて検討)

➤ 事業実施機関

公共事業運輸省 (Ministry of Public Works and Transport : MPWT)



➤ 調査目的

我が国が円借款事業として実施するための審査に必要な調査及び検討を行うこと

- 事業対象
- 改修全体計画と概略設計
- 概略事業費
- 事業実施体制
- 運営・維持管理体制
- 環境社会配慮、等

➤ 調査範囲

スレア・マアム バットンバン の約130km
(プルサト, バットンバンの2州)



環境社会配慮事項

(南区間調査でのステークホルダー協議)

➤ カテゴリ分類: A

- 根拠: 本事業は、「JICA環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)」に掲げる道路セクター及び影響を及ぼしやすい特性(大規模非自発的住民移転)に該当するため。

➤ 環境配慮について

- 「カ」国の環境関係法令では延長100kmを超える道路事業の場合、EIAが要求される。
- 本調査にて、カンボジア国の実施機関(MPWT)を支援してEIA報告書案を作成し、「カ」国環境省(Ministry of Environment: MOE)の承認を得る(2014年5月頃承認見込み)。

➤ 社会配慮について

- 本事業の実施により必要となる道路拡幅に伴う影響家屋数は、プルサット市街地や沿道に点在する集落を中心に、2,000戸程度と想定している。
(実際に移転が必要となる世帯(人)数、用地面積については今後の調査で把握)
- 本年8月以降、ステークホルダー会議、資産調査(Inventory of Loss)、社会経済調査を実施する予定。本調査にて内容確認のうえ、住民移転計画案の作成を行う。

調査区間の現況



農業用トラクターなどの低速車両と乗用車等の
高速交通が混在して危険



通学の自転車を追い越すトラック



生活道路としての利用



沿道の湿地帯(南区間の例)



調査工程及び助言内容

国道5号線(中央区間) 環境社会配慮にかかる工程(案)

年 月	2013										2014						
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
現地調査(全体)																	
国内解析																	
現地調査(環境社会配慮)																	
住民協議																	
環境社会配慮助言委員会																	

【助言依頼内容】

助言対象: スコーピング案

WG開催時期: 2013年7月26日